

よしまい

2025年 初夏号



羽化中のベッコウトンボを観察 公園春まつり・ガイドウォークで

目次

公園の風景

- ピカピカのおまつり日和 . . . 1
- 木のてっぺんで♪～ 1
- シミな木に咲くシミな花 . . . 1
- ぐるっと山口湾 ② 2
- みんなのひろば
- わが家のグミの木 2

活動紹介

- 春の研修旅行 3
- ラムサールの旗 3
- 新しい仲間 3

発行：「葦の会」機関紙チーム

事務局：〒754-1277 山口市阿知須 10509-53

きらら浜自然観察公園内

電話 0836-66-2030 (FAX 66-2031)

mail ashinokai.kirara@gmail.com

HP <https://ashinokai.cloudfree.jp>

「葦の会」はきらら浜自然観察公園で活動するボランティアグループです。自然を楽しみながら、その素晴らしさを一緒に学び伝えていきませんか？

会員募集中！（高校生以上）



公園の風景

= ピカピカのおまつり日和 =



フルートアンサンブル

4月29日、きらら浜自然観察公園第17回春まつりが開催されました。ここ数年決まったように雨にたたられていた公園の春まつりですが、今年は爽やかな晴天に恵まれ予想以上にたくさんの来園者で賑わい、大盛況に終わりました。

館内はゲームや工作、フルートアンサンブル、ハチミツ絞りなどを楽しむ家族連れでぎゅうぎゅう詰め。生き物観察をしながら園内を歩くガイドウォークでは、園内に生息する絶滅危惧種であるベッコウトンボの羽化の様子が見られ、みな興味津々でした。また「山口湾をラムサール条約登録湿地に」と題した葦の会の展示ブース内では子ども達が、春まつりのために山口湾から連れてこられたヤマトオサガニや希少なカブトガニとふれあいました。



ハチミツ絞り



干潟で遊ぼう



ビンゴゲーム



葦の会のブース

= 木のてっぺんで♪～ =

春には、ウグイスのさえずりがお馴染みですが、ホオジロも負けてはいけません。スズメにちょっと似ていますが、スズメより尾が長く、顔に歌舞伎の隈取りみたいな模様があります。よく木のてっぺんで澄んだ声でさえずっていますよ～。しかもとっても早口！皆さんも注意して耳をすませてみて下さいね！



頭のてっぺんはこんな感じ

= ジミな木に咲くジミな花 =



鳥の公園と呼ばれることもあるきらら浜自然観察公園は、さまざまな鳥にとっての餌場でもあります。ドングリを实らせるブナ科の木々が、4月末から5月にかけて花を咲かせますが、華やかさのない地味な存在で、気付かれない方が多いようです。園内散策でみつけたスタジイ（シイ属常緑広葉樹）の花をカメラにおさめました。お爺さんみたいな名前も愉快ですが、「爺」ではなく「椎」。食べておいしいのはドングリの中でピカイチです。

= 写真展 =

5月10日～16日愛鳥週間に合わせ、観察ホールでは10日から6月8日まで、一般公募による野鳥写真展が開かれています。野鳥の美しい姿や迫力ある瞬間をとらえた素晴らしい作品126点が小、中、高校生の愛鳥週間ポスターの入選作品と共に展示されています。是非見に来てください。

ぐるっと山口湾



山口湾を
ラムサール登録へ



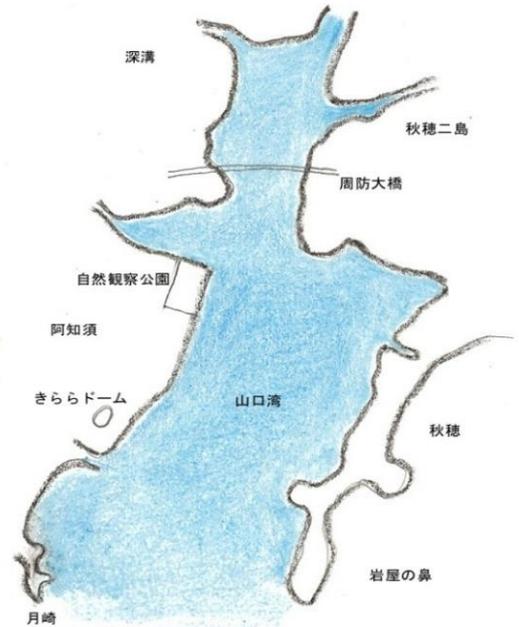
さまざまな種類の渡り鳥が飛び交う、「渡り鳥の交差点」とも呼ばれている山口湾。瀬戸内海に面した約1500haの小さな内湾ですが「日本の重要湿地500」に選定されています。



瀬戸内海に面した約1500haの小さな内湾ですが「日本の重要湿地500」に選定されています。



支柱のてっぺんではよくハヤブサがヒヨドリの群れを狙って目を光らせています



浜で何か獲る人の後ろではカルガモがエサを探していました

みんなのひろば

わが家のグミの木



4月半ばに一気に花が咲き、小さなハチが小さなグミの花蜜を吸いに訪れる。この木と出会ったのは総武線市ヶ谷駅近くのビルのエントランス前。植木屋さんであろうか、鉢物を並べて即売場となっていた。日頃は靖国通りを挟んで向かい側を歩く私だが、その日はグミにいなわれたに違いない。滅多にしない衝動買いに走った訳だ。20数年も前のことかと振り返る。その後、衝動買いの主は山口に居を移し、まる7年が経過した。グミも都会の鉢植えから直植えとなった上に土質も合ったのだろう、成長著しく毎年鈴なりの実をつける、山口県民ならぬ山口のグミとなっている。実りを待つように沢山の鳥がやってくるが、その中には図体の大きなカラスもいる。彼らは繁った枝の中には入れず、根元の方から上を向いてグミの実を食べている。あまり嬉しくないヤツなので、見かけるとついつい追い払ってしまう。出会ってから30年ほども共に過ごしてきたわが家のグミの木、掛け替えのない存在だ。



皆さまのご投稿をお待ちしています。ashinokai.kirara@gmail.com までお送りください。

活動紹介

= 春の研修旅行 =

4月21日（月）研修旅行に行きました。まず徳佐のリンゴ園で満開のリンゴの花を観賞しました。徳佐にはたくさんの農園があり、リンゴの品種は30種以上、木の数は15,000本以上あり、西日本最大の規模だそうです。初めてリンゴの花を見ましたが、品種によって花の形も色も違うそうで、真っ白のやほんのりピンクもあり、美しさにうっとり。リンゴの香りがするのかなと思いきや無臭なのにも驚きました。厳選された花だけを残すための花摘み作業が大変そうでした。おいしいリンゴジュースで喉を潤し、道の駅で昼食をとった後、リフトで「天空の津和野城跡」へ。頂上から赤い石州瓦の屋根の並ぶ津和野の街を眺め、立派な鯉を見ながら津和野の町散策も楽しみ、今回も有意義な旅行になりました。



受粉はミツバチのお仕事です



= ラムサールの旗 =



今年の春まつりで葦の会はカレー、ポップコーン、コーヒーなどの出店やフリーマーケットなどでおまつりを盛り上げたほか、初めての試みとして、「山口湾をラムサール登録地へ」をキャッチフレーズにしたのぼり旗をタッチプールのテント前に立て、ラムサール条約の登録地になることの意義を説明したチラシを配りました。未来の子ども達に山口湾を残して行きましょう。一緒に！



<俳句教室 最多選句>

友と訪ふ母校の跡や里桜

貞代

春菜蕨の甘きしぶきと小道ゆくはるか

3月

4月

= 新しい仲間 =

3月30日、公園による「ボランティア説明会」が開かれました。葦の会への新入会者3名は、自然を愛し守る意識をお持ちの、会の現役スタッフと同じ方向を向く方々です。これからの活動で一緒するのが楽しみです。その中の1人は小・中学生の時から公園のレンジャークラブで活躍していた男子。彼はこの春、会員資格の「高校生以上」となり、仲間になってくれました。彼は会員が首から下げている緑色の紐の名札に憧れを持っていたとか。皆で楽しい活動をしていきましょう。

<編集後記>

4月末開催の公園の春まつりにむけての準備に忙しかった頃から、今号の編集が始まりました。気分的なりフレッシュと機関紙の記事探しも兼ねてスタッフ2人で園内散策に出ました。今回はドングリ系の花にスポットをあてましたが、新緑の葉に溶け込むように咲く柳の小さな花も心に残ります。

(Tasha)